

地域問題特論 I

担当者 石川 雄一

開講時期 後期 単 位 1

●講義の概要

本講義では、経済地理学的な側面から、地図（GIS）やビッグデータ（小地域統計）を活用した空間分析をベースに現代都市の課題を講義する。現在の日本は、人口減少社会に突入し、加えて少子高齢化の課題を抱えている。これらの現象は地域によって大きく異なっており、東京一極集中が進展するなかで、地方においてはより深刻な課題となっている。本講義では、こうした現象下における大都市圏に発生している課題と、地方都市に発生している課題を整理し、課題を分析し、課題解決の方策についても検討する。

●講義の到達目標

- ①大都市圏と地方都市の空間構造の特性を理解する。
- ②人口分布並びに少子高齢化の進展と空間構造の変化の特性を理解する。
- ③GISや小地域統計の活用法を学び、地域の問題を発見する。
- ④地域の課題解決方法を考える。

●講義計画

- 第1回：地域とは、地域の概念
第2回：地域問題研究とGIS・ビッグデータ
第3回：都市圏構造に関する古典的モデル
第4回：大都市圏の構造変化-郊外化・超郊外化・多核化-
第5回：大都市圏の縮退と通勤流動パターンの変化
第6回：地方都市の小売業に関する課題
第7回：地方都市の交通に関する課題
第8回：周辺地域の課題：離島地域と都市との交流に関する課題

●成績評価基準と方法

- 出席・講義への取組とレポート
講義終了後にレポートを課します。
授業時の課題発表：25%、
レポート：60%、
議論：15%。

●テキスト又は参考文献

- 〔テキスト〕なし
〔参考文献〕授業時に指示します。

●受講上の留意点

事前に講義資料を配布しますので、授業が円滑に進むように予習しておいてください。